

ヒラタクワガタ クワガタムシ科

平べったく、がっしりした体型のクワガタムシです。オスの大アゴには、中ほどより少し下に一对の大きな突起があります。夜、クヌギ、コナラなどの樹液じゅえきにやって来ます。成虫のまま冬をこして何年も長生きをします。



写真提供：富沢 章氏

形態・生態

オスの大きさは3～7センチ、メスは2～4センチくらいと、大きさには個体差こたいさが大きいです。オスは頭の上に大きなアゴをもっています。成虫は6月頃から出現しゅつげんします。

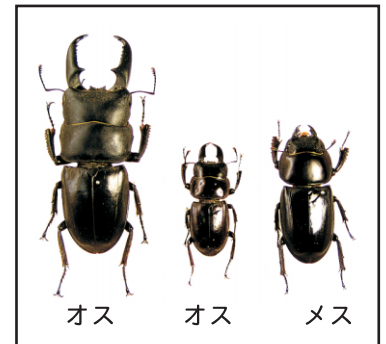
大あごのはさむ力は強く、いったんはさまれるとなかなか離はなさないで注意しましょう。

調べやすい時期（成虫）

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月

県内の分布

能登から加賀まで広く生息しています。標高約100メートル以下の平地にすんでいて、高い山にはいません。



見つけやすい場所

神社や公園、里山さとやま、河原などの樹液じゅえきが出ている木の幹みきや木のうろで見つけることができます。クワガタムシは普通、夜から朝方にかけて活動するので、夕方から夜や早朝にさがすのがよいでしょう。

まちがしやすい種類

ヒラタクワガタのオスには、大あごのねもとから3分の1のところ、内側に向けて大きな突起のあるのが大きな特徴です。同じような場所にすんでいるコクワガタ、スジクワガタは、この突起がねもとから2分の1より少し上にあるので、これらの種類とは簡単に区別かんたんできます。また、ノコギリクワガタは大あごの形がちがうので区別できます。

しかし、メスについては区別がむずかしいです。

